

爆発する暴力

2014 年 11 月 7 日 エディ・サントロ

何年にも渡ってイスラエルで暮らし、その中で私たちは多くのテロリストによる暴力の波にさらされて来ました。第一次インティファダ(パレスチナ人の暴動)は 1987 年～1991 年に起こり、私たちがここに到着する前にありました。第二次インティファダは 2000 年～2005 年に起こりました。最近、暴力がエルサレムで増加しており、次のインティファダが爆発するのではないかとされています。

今週、48 歳の 5 人の子を持つ父のイブラヒム・アル・アカリィが自分の車を歩行者がたくさんいるライトレール(訳注:路面電車)駅の一つに突っ込ませました。エルサレム在住の一人のドルーズ教徒が亡くなり、その他 11 人のイスラエル人が負傷し、3 人は重傷を負いました。この攻撃は先週に起こったばかりの出来事のくり返しでした。先週の事件では、別のライトレール駅に車でテロ攻撃をかけた結果、3 ヶ月の赤ちゃんが命を落としました。両方のテロリストの運転手は治安部隊によって射殺されました。

昨晚、この歩行者への攻撃の数時間後、3 人の兵士が道ばたに立っており、別のテロリスト運転手が彼らを車で轢きました。3 人共負傷し、一人は重傷でした。今回、大規模な犯人追跡が行われ、このドライバーは治安部隊に投降しました。

これらすべての出来事において、テロリスト殺人者はすぐに「殉教者であり英雄である」とパレスチナ人当局とハマスによって讃えられました。彼らの葬儀がエルサレム東部の住民による広範囲な暴動を引き起こしました。

神殿の丘

このような不安定な混在状況に付け加える出来事は、ユダヤ教の最も聖なる場所であり、アル・アクサ モスクのある神殿の丘を取り巻く暴力の連鎖です。ユダヤ人が神殿の丘で祈る権利を提唱する指導者であるラビ・イエフダ・グリックが暗殺されかけた時から、これがまた別なる「発火点」となっています。彼はバイクに乗ったテロリストによって 4 度撃たれ、今この生命を脅かしかねない負傷から回復しつつあります。

それ以来、若いパレスチナ人は夜な夜な集まって暴動を起こし、正当な理由のない攻撃をイスラエル警察にかけています。イスラエルが先週治安の理由で神殿の丘を閉じ、暴動を起こした人々を捕らえるためにアル・アクサ モスクに略式に立ち入った事により、イスラム 世界がそれを大げさに、イスラエルがイスラム教徒を立ち入らせる事を禁じて、最終的にはアル・アクサ モスクを破壊するのだと取り上げました。これらの主張に応じて、アラブ世界全体が騒動となっています。

この暴力の波が止まり、第三次インティファダへと発展しないように、大惨事と闇を引き起こす、ジハードを行うイスラムの霊に対し、どのように対応すべきなのかイスラエル政府に知恵が与えられるように、そしてパレスチナ人の救いと世界中の大勢のイスラム教徒の救いのために、どうかお祈り下さい。

アーチャーのカナダ滞在再び コディ・アーチャー

私たちはイスラエルに戻ってきたばかりでカナダでの滞在を心から感謝しています。私たちのために祈って下さる人々に感謝します。旅は成功裏に終わりました。私は 12 回語りました。以下が癒やしの証です。

バプテストの青年グループで、性的に純潔である事を語った後、牧師は私を車まで共に歩いて下さいました。駐車場で彼は私を止め、彼の肩のために祈ってくれるよう依頼しました。私たちが祈る前に、彼は自分の腕を頭の上に伸ばし、痛みとこわばりのせいで、彼の右腕は左腕よりも最低でも 6 センチ短いのだと語りました。二度ほど祈った後、目につく変化がありました。そこで私たちは三度目祈りますとすべての痛みが消えたのです！彼は自由に彼の腕を回すことができるようになり、彼の右腕は左腕と同じ長さになったのです！

その後、私たちは建物の中に戻り、この証を青年たちに分かち合い、そして他者のために祈りました。祈りを通して、ある若い男性の尾てい骨の痛みはすぐに消え、ある女の子のかかどが大いに癒やされました！

カナダでのテロ攻撃

10 月末近くのある一週間、二人のカナダ人兵士はイスラムのテロリストによって殺されました。二つ目の攻撃はオタワ(訳注:首都)にあるカナダ政府の中心地で起こりました。私たちは幾人ものカナダ人がこのような事を言うのを聞きました。「何という事だ。これらの事は遠い国々で起こっているの

を私たちはニュースで見ると、今やここで起きている。」カナダのために、そしてカナダが自国内、自国外におけるテロ攻撃に対処している事をどうかお祈り下さい。